

# 令和元(平成31)年度

## 大分県・全国学力調査の結果

文部科学省及び大分県教育委員会が、4月に実施しました学力調査(全国は4月18日、大分県は4月23日)の結果がまとまりました。豊後大野市教育委員会では、調査結果について保護者、市民の皆さんと共有しながら、今後の学力向上方策を展開していきます。

【豊後大野市教育委員会】



## I 調査の結果

### 1 大分県学力定着状況調査

【対象学年】 小学校5年生 中学校2年生

【調査内容】 ①学習到達度調査

・小学校「国語・算数・理科」

・中学校「国語・社会・数学・理科・英語」

(主として「知識」に関する問題及び主として「活用」に関する問題)

②質問紙調査(学習習慣や生活習慣、友だちや学級とのかかわり等を調査)

#### 小学校

#### (1)各教科の偏差値(※全国平均である偏差値「50.0」を上回った区分に着色)

小学校5年生						
教科	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
R元年度 (H31)	52.4	51.0	53.2	51.8	51.0	51.5
	県(52.1)	県(51.6)	県(52.2)	県(52.1)	県(52.2)	県(51.3)

#### (2)結果から見えること

- 全教科、知識・活用ともに偏差値50を上回っている。
- 5年連続(H27~31(R元))して、すべての教科において目標偏差値50を上回っており、安定してきている。
- 県偏差値との差は、ほとんどの教科で縮まった。各教科とも、県偏差値を越える部分もある。

### (3)過去7年間の推移

教科	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
H25年度	49.6	48.0	50.2	48.6	47.6	47.8
H26年度	49.5	50.0	51.2	50.3	49.9	50.3
H27年度	51.9	50.8	52.3	51.8	51.1	50.4
H28年度	52.4	51.3	53.3	53.0	50.8	51.0
H29年度	50.1	50.2	52.3	51.0	50.3	50.0
H30年度	50.7	50.3	51.2	51.4	50.7	50.0
R元年度	52.4	51.0	53.2	51.8	51.0	51.5

## 中学校

### (1)各教科の偏差値（※全国平均である偏差値「50.0」を上回った区分に着色）

中学校2年生										
教科	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
R元 H31	53.7	50.5	50.7	51.0	49.8	49.8	50.4	50.6	49.4	49.4
	県(51.8)	県(50.5)	県(50.5)	県(50.3)	県(50.7)	県(50.6)	県(50.9)	県(50.5)	県(50.3)	県(50.3)

### (2)結果から見えること

- 国語・社会・理科は、知識・活用ともに目標偏差値50を上回った。数学・英語も僅差である。
- 国語の知識・活用、社会の知識・活用、理科の活用は県偏差値以上である。

### (3)過去7年間の推移

教科	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
H25	50.1	49.9			49.5	49.4	48.8	48.5	47.3	48.3
H26	49.3	50.4			49.5	49.1	50.3	49.7	46.9	47.0
H27	51.1	49.0			50.5	49.7	50.8	51.3	48.8	48.9
H28	51.0	48.9			49.4	50.0	50.4	50.3	50.2	50.4
H29	49.6	48.6	49.1	48.4	47.7	48.1	49.4	48.8	47.3	47.8
H30	50.4	48.4	48.9	48.1	47.5	48.4	48.9	47.7	47.8	47.1
R元	53.7	50.5	50.7	51.0	49.8	49.8	50.4	50.6	49.4	49.4

## 2 全国学力・学習状況調査

【調査対象】 小学校 6 年生 中学校 3 年生

【調査内容】 ①教科に関する調査

- ・ 小学校「国語・算数」
- ・ 中学校「国語・数学・英語」

各教科とも「知識」「活用」を一体的に出題

②質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

### 小学校

#### (1) 各教科の平均正答率(%) (※全国平均を上回った区分に着色)

教科	国語	算数
R 元年度 (H 3 1)	68	68
	県(67) 全国(63.8)	県(67) 全国(66.6)

#### (2) 結果から見えること

○全国学力・学習状況調査においては、3年連続（H29～R元）して、国語、算数で目標値である全国平均正答率を上回った。

さらに、大分県平均正答率も上回った。



#### (3) 過去6年間の推移 (※全国平均を上回った区分に着色)

教科及び 問題	国語		算数		理科
	A問題	B問題	A問題	B問題	
H 2 5 年度	62.3	46.6	80.1	59.0	
H 2 6 年度	71.7	54.8	76.4	53.7	
H 2 7 年度	69.2	64.1	74.1	42.0	56.6
H 2 8 年度	71.9	55.5	75.1	45.8	
H 2 9 年度	77	61	83	50	
H 3 0 年度	72	55	64	52	60
R 元年度	68		68		

(令和元年度から「A：知識」「B：活用」を一体的に出題)

## 中学校

### (1)各教科の平均正答率(%) (※全国平均を上回った区分に着色)

中学校3年生			
教科	国語	数学	英語
R元年度 (H31)	72	53	52
	県(74) 全国(72.8)	県(61) 全国(59.8)	県(55) 全国(56.0)

### (2)結果から見えること

- すべての区分において、全国平均・県平均を下回った。
- 数学・英語は全国平均との差が大きかった。

### (3)過去6年間の推移 (※全国平均を上回った区分に着色)

教科及び 問題	国語		数学		理科	英語
	A問題	B問題	A問題	B問題		
H25年度	74.7	66.4	57.8	36.7		
H26年度	79.7	53.6	65.9	56.8		
H27年度	73.3	65.2	60.2	35.4	49.3	
H28年度	76.3	69.4	59.6	40.3		
H29年度	78	73	62	43		
H30年度	75	61	61	41	66	
R元年度	72		53			52

(令和元年度から「A：知識」「B：活用」を一体的に出題)



## II 生活習慣・学習習慣について

学力調査の際に実施されました児童生徒対象の生活習慣・学習習慣等アンケート結果では、家庭学習の定着、充実が課題であることが浮き彫りになりました。特に、ゲームやスマホの使用と学力の関係が明確になっています。(下記参照)

### 豊後大野市における「ゲーム使用と学力調査結果の4層クロス資料」

#### ～令和元年度大分県学力定着状況調査より～

※4層クロス資料とは・・・受検者を、成績順に上位から25%ずつ4層(A層～D層)に分け、各層のアンケート回答状況を集計したものです。

Q I 学校の授業がある月曜日から金曜日に、一日にどれくらいゲームをしますか？

#### 1 小学校5年生の状況(豊後大野市) %

※無回答有

	ほとんどしない	～1時間	～2時間	2時間超
A層 100～75%	29.1	52.8	9.1	9.1
B層 75～50%	27.3	45.4	16.3	10.9
C層 50～25%	12.7	49.1	21.8	16.3
D層 25～0%	30.4	46.4	10.8	10.8

#### 2 中学校2年生の状況(豊後大野市) %

※無回答有

	ほとんどしない	～1時間	～2時間	2時間超
A層 100～75%	38.2	40.0	16.4	5.4
B層 75～50%	28.6	35.7	17.8	17.8
C層 50～25%	22.8	38.6	21.1	17.5
D層 25～0%	12.5	16.1	28.6	42.9

小学生、中学生ともに、平日は1時間以内の区分が多くを占めています。また、上位層に比べ下位層ほどゲームに多くの時間を費やす傾向になっています。特に中学校2年生においては、D層は2時間を超す時間の区分が最も多く、さらに、1時間から2時間の区分を合わせると70%以上の生徒にのぼります。逆に、学力の高い層ほどゲームに費やす時間が短い傾向が認められます。小学校においても同様の傾向があるといえます。

QⅡ 土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、一日にどれくらいゲームをしますか？

1 小学校5年生の状況（豊後大野市）%

※無回答有

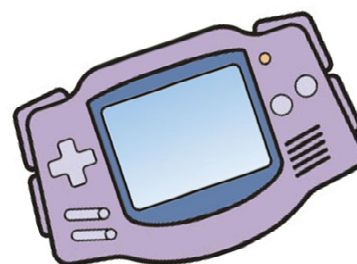
	ほとんどしない	～1時間	～2時間	2時間超
A層 100～75%	23.6	50.9	10.9	14.5
B層 75～50%	23.6	32.7	21.8	21.9
C層 50～25%	16.4	36.4	21.8	25.5
D層 25～0%	28.6	34.0	17.8	19.6

2 中学校2年生の状況（豊後大野市）%

	ほとんどしない	～1時間	～2時間	2時間超
A層 100～75%	20.0	34.6	20.0	25.4
B層 75～50%	14.3	23.3	21.4	41.1
C層 50～25%	10.5	28.1	15.8	45.6
D層 25～0%	7.1	16.1	10.8	66.0

週末になると、平日に比べてゲームの使用時間は全体的に長くなりますが、上位層の子どもたちほどゲームの使用時間が短い傾向があります。時間を決めて「ゲームにけじめをつける」生活を送ることにより、家庭学習時間が確保できているのではないかと考えられます。

中学校2年生におけるD層の子どもたちの66%が2時間を超えています。休日にどれくらい時間を費やしているのか気になるところです。



### Ⅲ 今後の改善方策

豊後大野市教育委員会では、令和元年度の大分県学力定着状況調査の結果及び全国学力・学習状況調査の結果に関わり目標設定していましたが、今年度の状況は以下のとおりでした。

令和元年度 目標	令和元年度の達成状況
○大分県学力調査結果 『偏差値50以上』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年 国語【知識 52.4】【活用 51.0】 算数【知識 53.2】【活用 51.8】 理科【知識 51.0】【活用 51.5】</li> <li>・中学校2年 国語【知識 53.7】【活用 50.5】 社会【知識 50.7】【活用 51.0】 理科【知識 50.4】【活用 50.6】</li> </ul>
○全国学力・学習状況調査 『平均正答率で全国平均を上回る』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年 国語【 +4.2 】 算数【 +1.4 】</li> </ul>

大分県学力定着状況調査においては、小学校では全ての教科において目標偏差値50を上回り、目標達成できました。中学校では国語・社会・理科において目標偏差値50を上回り、数学・英語においても僅差でした。また、全国学力・学習状況調査においては、小学校では国語、算数で目標である平均正答率で全国平均を上回りました。しかし、中学校では全教科で目標を達成することができず、取組の徹底が不十分であるといえます。

豊後大野市教育委員会では、今年度、すべての教育活動の根底にキャリア教育をすえ、主体的な自己実現のできる児童生徒の育成をめざしています。さらに来年度の目標達成に向けた取組を徹底していきます。

#### 1 豊後大野市の取組

##### (1) 教育委員会による指導

- ① 小学校においては、豊後大野市小学校学習状況調査（1～6年生対象に国語・算数で1月予定）と定期学力調査（4・5年生対象に国語・算数を年2回ずつ）を実施するとともに、その結果を受けた指導を徹底します。また、小学校教科担任制指導を高学年を中心に導入します。
- ② 中学校においては、豊後大野市中学校学習状況調査（1・2年生対象に国語・社会・数学・理科・英語で1月予定）を実施するとともに、その結果を受けた指導を徹底します。また、学力向上推進部会（学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員）の授業公開、および、学力調査の分析による授業などの改善の情報交換を中学校教科部会の研修会と位置付け、指導を徹底します。さらに、三重総合高校と連携し、中学校教科指導が充実できる研修会を実施します。

##### (2) 問題解決型の学習、主体的・対話的で学びをリードする学力向上支援教員の活用

- 優れた指導力を有する学力向上支援教員の授業公開、教育委員会による指導を、年間3回以上実施し、全校へ普及します。

##### (3) きめ細かな指導の推進をリードする習熟度別指導推進教員の活用

- 優れた指導力を有する習熟度別指導推進教員の授業公開、教育委員会による指導を年



間3回以上実施し、全校へ普及します。

## 2 各学校の取組

- (1) 各学校で学力調査の分析を行い、各学校における成果や課題、原因を明らかにして、個を大切にした対応など具体的な今後の取組を共通理解します。そして、実践していきます。
- (2) 全小・中学校の教務主任や研究主任といった主要主任（ミドルリーダー）が学力向上を担当して、管理職とともに、校内の授業観察や指導・支援を実施し、授業改善の取組の徹底を図ります。
- (3) 市内全町での連携型小・中一貫教育に係る小・中連携部会を、9年間を見通した児童生徒の情報共有と学びに向かう情意面・態度面の育成について共有できるよう年間を通して開催します。
- (4) 市内全町のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）において、域内小・中学校の学力調査結果等を公表するとともに、学校・家庭・地域が一体となって目標協働達成に向けた取組を評価・改善していきます。

## 3 家庭・地域との協働

- (1) 家庭との連携を深化させ、宿題（家庭学習）定着率100%を目指します。
- (2) 各町のコミュニティ・スクールにより、学校運営への保護者・地域住民の参画を促すとともに、学校関係者評価を通じた改善のための取組についても協働します。
- (3) 市PTA連合会等では、家庭学習の時間を圧迫しがちなゲームやスマートフォン等メディアの使用の危険性、有害性について研修・啓発をすすめています。こうした取組を含め、「PTA連合会：家庭教育力UPの5か条」の更なる啓発を図ります。

（参考）「家庭教育力UPの5か条」

1. 早寝・早起き・歯みがきをしよう！
2. 朝は「おはよう」のあいさつから始めよう！
3. 朝ごはんをしっかりと食べよう！
4. 家族で食事の時間をつくろう！
5. 家庭学習は時間を決めて取り組もう！

